

# 日本都市学会ニュース NO. 43

2016. 11. 25

発行 日本都市学会 〒460-0008 名古屋市中区栄4-12-26 栄CDビル5A OASIS都市研究所内  
 TEL 052-252-7741/FAX 052-251-5058  
 郵便振替 00130-0-512255/三菱東京UFJ銀行栄町支店普通口座 0126767  
 <e-mail>info@toshigaku.org <ホームページ>http://www.toshigaku.org/

## 日本都市学会第63回大会開催

日本都市学会第63回大会は、2016年10月28日(金)～30日(日)の間、愛知県岡崎市の図書館交流プラザ(りぶら)を会場として、「地方創生と観光まちづくり」をテーマに開催されました。

28日午後1時30分、「観光は地方創生の切り札」として3つのコースで視察するエクスカーションで大会がスタートしました。あいにくの雨の中でしたが、各コースとも岡崎市の担当者による先導や説明を受け、内容の濃いエクスカーションでした。

翌29日(土)9時20分から12時40分まで研究発表Iとして、1階と3階の4つの会場で合計30件の発表がありました。

13時30分から1階ホールへ会場を移して、堂前亮平日本都市学会会長、林上中部都市学会会長による開会あいさつに続いて、内田康宏岡崎市長による特別講演「観光産業都市『岡崎』を目指して」があり、大会テーマ「地方創生と観光まちづくり」によるシンポジウムに移り、最初に公益財団法人日本交通公社理事・観光政策研究部長梅川智也氏による「『地方創生』と観光まちづくりー観光は地方創生の柱となるかー」と題する基調講演があり、続いてパネルディスカッションが開催されました。

名古屋学院大学井澤知旦教授のコーディネートののもと、パネリストの長良川温泉泊覧会実行委員会プロデューサー・蒲勇介氏、NPO法人岡崎まち育てセンター・りた事務局長・天野裕氏、有限会社オズ(海島遊民くらぶ)代表取締役・江崎貴久氏、愛知

淑徳大学交流文化学部准教授・林大策氏に基調講演の梅川智也氏を加えた5氏からの報告と討議がなされました。

17時15分から日本都市学会賞(奥井記念賞)、日本都市学会論文賞、日本都市学会特別賞の授賞式が行われ、引き続いて日本都市学会総会が開催されました。

18時45分から岡崎ニューグランドホテル9階スカイレストラン「パリ」で懇親会が開かれ、多くの会員、来賓が出席し、なごやかな時間を過ごしました。

翌30日(日)は、9時20分から研究発表IIとして前日と同じ4つの会場で32件の発表があり、熱心な討議が行われました。12時40分には研究発表が終了しました。

13時30分から、1階103会議室で、特別セッション「新しい都市学の成立を目指して」が開催され、多くの会員が出席し、戸所隆前日本都市学会会長のコーディネートのもと、各地域都市学会からの報告をもとに討議がなされました。16時45分にはすべての大会スケジュールが終了しました。

今回の研究発表数は総計62件と過去最高を記録し、研究発表会場も初めて4室を利用することになりました。参加者数は170人で、このうち一般参加者は26人ありました。エクスカーション参加者は34人、シンポジウム参加者は143人、懇親会参加者は69人、特別セッション参加者は63人でした。

エクスカーションは残念ながらお天気に恵まれませんでしたが、あとの2日は快晴で、乙川と岡崎城のすばらしい景観の中での大会でした。

主催の中部都市学会、後援をいただいた岡崎市はじめ関係各位に厚く御礼申し上げます。

## 2016年度総会報告

2016年度総会は、10月29日(土)17時45分から岡崎市図書館交流プラザ(りぶら)1階ホールで開催され、林上中部都市学会会長を議長に選出して以下の6議案が審議されました。いずれも異議なく原案どおり議決されました。

また引き続き3件の報告がなされ、いずれも承認されました。

- 議案1 2015年度事業報告
- 議案2 2015年度決算



乙川河川敷で説明を聞くエクスカーション参加者

- 議案3 2016年度事業計画
- 議案4 2016年度予算
- 議案5 事務局担当支部の決定
- 議案6 2017・2018年度会長、監事の承認
- 議案7 理事の承認
- 報告1 2016年度日本都市学会賞等について
- 報告2 日本都市学会第64回大会について
- 報告3 日本都市学会会員数の状況

### 2015年度事業報告

#### (1)日本都市学会第62回大会の開催

開催日時 2015年10月30日・31日・11月1日  
 開催学会 関東都市学会  
 開催都市 新潟県上越市  
 開催テーマ 「新幹線を活かした地方都市のまちづくり」

#### (2)日本都市学会年報の発行

VOL.48「都市・文化・まちづくりー新しい都市学の成立をめざしてー」(2015年5月発行)

#### (3)論文審査委員会

①委員会メンバーの確認等(12/2)、②論文案等審査委員の決定(12/8)、③査読者選定(12/18)、④査読結果とりまとめ(2/9)、⑤異議申し立てについて(2/29)、⑥修正論文の採否判断(3/24)、⑦再修正論文の採否判断(4/11)

#### (4)日本都市学会賞の選定

2015年4月30日 推薦等締め切り  
 2015年9月6日 選考委員会開催、同日第2回理事会において決定  
 2015年10月31日 大会において授賞式

#### (5)日本都市学会総会の開催

2015年10月31日

#### (6)理事会および常任理事会の開催

第1回理事会(2015年6月7日)  
 ①常任理事および理事の変更、交替、②2014年度事業報告・決算報告案、③2015年度事業計画・予算案、④学会賞担当事務局報告、⑤論文審査担当事務局報告、⑥年報担当事務局報告、⑦第61回大会報告、⑧第62回大会予定、⑨その他

第2回理事会(2015年9月6日)

①学会発表のルールについて、②第62回大会について、③2015年度学会賞・論文賞等の決定、④年報事務局報告、⑤論文審査事務局報告、⑥総会議案、⑦第62回大会予定、⑧論文審査委員会委員の選出について

第3回理事会(2015年10月30日)

①第62回大会について、②学会賞事務局報告、③年報事務局報告、④論文審査事務局報告、⑤第63回大会予定、⑥総会議案の決定

第1回常任理事会(2016年3月20日)

- ①各事務局からの報告、②第62回大会報告、③第63回大会予定、④2015年度事業報告・決算見込み、⑤2016年度事業計画・予算案、⑥会員数の増加方策の検討

#### (7)日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス

日本都市学会ニュースNo.40 2015年7月  
 日本都市学会ニュースNo.41 2015年11月

#### (8)新しい都市学を考えるWG

第63回大会において着地を図ることを目標にまとめる

### 2015年度決算

(自2015年4月1日 至2016年3月31日)

#### 収入の部

(円)

科目	予算	決算
学会会費(当該年度分)	2,000,000	1,990,200
学会会費(過年度分)	0	0
年報売上等	630,000	705,500
雑収入	70,000	143,725
前年度繰越金	996,263	996,263
計	3,696,263	3,835,688

#### 支出の部

(円)

科目	予算	決算
大会関係費	400,000	400,000
理事会・常任理事会関係費	700,000	674,548
論文審査委員会関係費	100,000	38,378
年報関係費	1,150,000	1,054,244
(VOL.48)	(1,050,000)	(1,007,632)
(VOL.49)	(100,000)	(46,612)
学会賞関係費	150,000	94,935
事務局経費	500,000	363,321
備品費	10,000	0
雑費	60,000	0
予備費	626,263	0
次年度繰越	0	1,210,262
合計	3,696,263	3,835,688

### 2016年度事業計画

#### (1)日本都市学会第63回大会の開催

開催日時 2016年10月28～30日  
 開催学会 中部都市学会  
 開催都市 愛知県岡崎市  
 開催テーマ 「地方創生と観光まちづくり」

#### (2)日本都市学会年報の発行

VOL.49「新幹線を活かした地方都市のまちづくり」(2016年5月発行)

#### (3)論文審査委員会

論文審査委員の選任、論文投稿要項の修正(年度、

日付など)

研究発表会終了後、論文審査作業の開始

#### (4)日本都市学会賞の選定

2016年4月30日 推薦等締め切り

2016年9月18日 選考委員会開催、同日第2回理事会において決定

2016年10月29日 大会において授賞式

#### (5)日本都市学会総会の開催

2016年10月29日

#### (6)理事会および常任理事会の開催

第1回理事会（2016年6月12日）

常任理事の指名、2015年度事業報告・決算案、2016年度事業計画・予算案、第63・64回大会予定、各事務局からの報告他

第2回理事会（2016年9月18日）

2016年度学会賞・論文賞等の決定、第63回大会予定、各事務局からの報告他

第3回理事会（2016年10月28日）

総会提出議案の決定、第63回大会直前確認事項、第64回大会予定、各事務局からの報告他  
第1回常任理事会（2017年3月）

2016年度事業報告・決算見込み、2017年度事業計画・予算案等、第63回大会報告、第64回大会予定、各事務局からの報告他

#### (7)日本都市学会ニュースの発行とホームページのメンテナンス

日本都市学会ニュースNo.42 2016年7月

日本都市学会ニュースNo.43 2016年11月

#### (8)新しい都市学を考えるWG

第63回大会時、特別セッションで討論

#### (9)次期会長、監事の選出

#### (10)本部事務局等の移転の決定

### 2016年度予算

(自2016年4月1日 至2017年3月31日)

#### 収入の部

科目	2015年度	2016年度
学会会費（当該年度分）	2,000,000	2,000,000
学会会費（過年度分）	0	50,400
年報売上等	630,000	630,000
雑収入	70,000	70,000
前年度繰越金	996,263	1,210,262
計	3,696,263	3,960,662

#### 支出の部

科目	2015年度	2016年度
大会関係費	400,000	500,000
理事会(常任理事会)関係費	700,000	700,000
論文審査委員会関係費	100,000	100,000
年報関係費	1,150,000	1,150,000
(VOL.49)	(1,050,000)	(1,050,000)
(VOL.50)	(100,000)	(100,000)

学会賞関係費	150,000	150,000
事務局経費	500,000	500,000
備品費	10,000	10,000
雑費	60,000	60,000
予備費	626,263	790,662
合計	3,696,263	3,960,662

### 2016年度第2回理事会報告

第2回理事会は、9月18日（日）13時30分～16時、名古屋都市センター第2会議室で開催され、堂前亮平会長、増田聡、熊田俊郎、井上繁、林上、井澤知旦、久隆浩、川田力、浅見良露の各理事、森傑、田淵義英、磯部友彦、大塚俊幸、小長谷一之、山下博樹、外井哲志の各常任理事、松浦孝英大会事務局、杉野尚夫本部事務局長が出席しました。

議事の概要は以下のとおりです。

#### (1)第63回大会について

中部都市学会から大会準備の進捗状況が報告され、プログラム案が提示されました。今回は発表者が62名と多いため、発表会場を4室にすることになったとの報告がありました。また、特別セッションのプログラムについて、一部出席者から報告順について反対意見が出され、議論の結果、プログラムの上では北海道から順に掲載し、実際の報告順は当日戸所コーディネーターの指示によることになりました。

#### (2)学会賞等の選考について

午前中に開催された学会賞選考委員会、論文賞選考委員会の選考結果の報告があり、報告通りに承認されました。

#### (3)年報事務局報告

年報第49号の発刊経過、制作費等について報告がありました。

#### (4)論文審査事務局報告

2016・2017年度論文審査委員、委員長、副委員長が決定したことの報告がありました。

#### (5)次期会長および監事について

会長推薦選挙の結果が報告され、次期会長に堂前亮平現会長（留任）、監事に檜楨貢氏（留任）、北村速雄（新任・九州）とすることが承認されました。

#### (6)大会時の研究発表等のルールについて

研究発表等のルールについて、事務局からQ&Aが提案されましたが、異見百出で簡単にはまとまらない状況となり、この件は次年度以降に持ち越されることになりました。

#### (7)その他

次年度以降の本部および分散事務局の担当について、事務局から確認があり、次期担当学会はその準備をすすめることになりました。

### 2016年度第3回理事会報告

第3回理事会は10月28日（金）18時～19時30分、

岡崎ニューグランドホテル3階飛龍で開催され、堂前亮平会長、増田聡、熊田俊郎、井上繁、西野淑美、林上、碓井照子、久隆浩、山崎健、由井義通、川田力、堤昌文の各理事、森傑、田淵義英、土居洋平、磯部友彦、大塚俊幸、小長谷一之、山下博樹、外井哲志の各常任理事、高山正樹監事、新しい都市学担当の戸所隆、高田弘子、松浦孝英大会事務局担当、杉野尚夫本部事務局長が出席しました。議事の概要は次のとおりです。

**(1)第63回大会について (中部都市学会)**

林上中部都市学会会長から歓迎の挨拶と開催経過報告があり、担当事務局からプログラムの変更点などの報告がありました。

**(2)学会賞事務局報告**

学会賞担当事務局から、授賞式で読み上げる学会賞等の受賞理由について報告がありました。また次年度の学会賞選考スケジュール等について報告がありました。

**(3)年報事務局報告**

年報事務局から、年報第50号の構成について報告があり、また次期年報事務局への引き継ぎの時期について報告がありました。

**(4)論文審査事務局報告**

論文投稿要項の改正案について報告があり、原案どおり承認されました。

**(5)第64回大会について (東北都市学会)**

東北都市学会から、第64回大会の開催概要について報告がありました。大会テーマについて、やや地域限定が強いのではないかとの意見が出され、引き続き検討することになりました。

**(6)総会議案**

総会議案について事務局原案どおり総会に提出することで、了承されました。

**(7)その他**

事務局から、本部および分散事務局の引き継ぎ時期について確認がありました。

**2017年度から本部事務局は近畿都市学会へ**

会則第3条に定める本会の事務局は、2017年4月1日から近畿都市学会が担当することになりました。これに伴い、分散事務局は以下のようになります。

本部事務局 (庶務事務)	近畿都市学会
年報発行事務	中部都市学会
学会賞事務	九州都市学会
論文審査事務	東北都市学会
大会開催事務	大会開催担当学会

**2017・2018年度会長、監事**

次年度以降の会長および監事がつぎのように総会で承認されました。

会長 堂前亮平 (九州)  
監事 檜 貢 (関東)、北村速雄 (九州)

**2016年度日本都市学会賞等決まる**

2016年度第2回理事会において、2016年度日本都市学会賞 (奥井記念賞) には松尾浩一郎氏 (関東)、日本都市学会論文賞には工藤祐介氏 (東北)、小原文明氏 (近畿)、平井太郎氏 (関東)、日本都市学会特別賞 (学術共同研究賞) は近畿都市学会、日本都市学会特別賞 (学術共同研究賞) は中部都市学会に決まりました。

授賞式は、2016年10月29日、日本都市学会第63回大会の場で行われ、堂前亮平会長から賞状等が手渡され、引き続いて各受賞者からスピーチがありました。(工藤祐介氏は欠席)

**日本都市学会賞 (奥井記念賞)**

松尾浩一郎著『日本において都市社会学はどう形成されてきたかー社会調査史で読み解く学問の誕生ー』ミネルヴァ書房、2015.4.15発行、関東都市学会推薦

**(選考理由)**

本書は、日本の都市社会学の形成過程を、「社会調査の歴史」という視点から、豊富な資料の読解により取りまとめたものである。主に1960年代までの奥井復太郎、日本都市学会、倉沢進、湯崎稔などの調査者に焦点を当てて記述した内容となっており、社会調査と都市社会学との関係がわかりやすく述べられている。

とりわけ、日本都市学会が昭和30年代に活発に行った調査活動を、戦後日本の社会調査史の中に位置づけ、それが今日の都市研究や都市社会学に及ぼした影響を再評価している点は、従来にない新しい試みであるといえる。

また、本書は、構成とバランスが良く、多くの文献のレビューやインタビューに基づいた丁寧で密度の高い論考からなる大作であり、十分に奥井賞に値する書籍であると評価できる。

以上の理由から、選考委員会としては、本書が日本都市学会賞に値する優れた書籍であるという結論に達した。

**日本都市学会論文賞**

受賞者: 工藤祐介、論文『街なかまちづくり活動におけるプロセス支援ツールの活用方法』日本都市学会年報47号、2013年5月発行

**(選考理由)**

本論文は、まちづくり活動における活動プロセスの重要性に注目し、それを支援する方法論としての「プロセス支援ツール」を提起し、具体的な活用例として、大館市の中心市街地活性化計画策定プロセスを基に、その有効性について実証的に検討したものである。

論文中のモデル構築や分析にやや粗削りなところがみられるものの、論旨は明快であり、よくまとまった論文で、支援ツールの妥当性や可能性を明らかにした意義のある研究といえる。

なかでも、一般に、絵に描いた餅に終わりがちな計画策定の問題点を明らかにし、今後の実効性の高い計画策定のための考え方を提起している点が高く評価できる。以上のことから、本論文を2016年度日本都市学会賞（論文賞）に選定した。

**受賞者：小原文明、論文『土地所有の変遷にみる近現代—京都市岡崎・南禅寺地区を事例に—』日本都市学会年報47号、2014年5月発行**

**(選考理由)**

本論文は京都市の岡崎・南禅寺地区をとりあげ、明治期から現在に至る土地所有の変遷を分析し、地区形成のプロセスを明らかにしたものである。

先行研究をきちんと整理したうえで、土地台帳・土地登記簿・地籍図など歴史的資料を含む貴重な1次資料に当たって綿密な分析が行われ、データに語る形で長期的土地所有の変遷が描き出されていることが評価に値する。

特に当該地域の土地区画を、利益を生み出す財としてだけでなく、土地利用を変えず所有することに意味があることを指摘した点は興味深く、都市内の優良地区の形成要因と形成過程に迫る今後の研究発展が期待できる論考として高く評価できる。以上のことから、本論文を2016年度日本都市学会賞（論文賞）に選定した。

**受賞者：平井太郎、論文『分譲マンションの管理をめぐる「コミュニティ」のゆくえ—組織と個人を媒介する「中間集団」の機能に着眼して—』日本都市学会年報47号、2014年5月発行**

**(選考理由)**

本論文は分譲マンション管理における「中間集団」として「専門委員会」と「自治会」の有用性に注目し、それらが所有者と管理組合をどのように媒介しているかを9つの分譲マンションを事例に検討を加え、中間集団が、管理に向けてのその目標の共有や役割の分担を図り、それらを再編しつつあることを明らかにしたものである。

問題の所在自体が複雑なテーマに対して、何が論

点を提示する段階からマンション管理に関する制度改正の議論や、入手にくいデータに基づいて論拠となる現場の細部を厚く記述している点が、評価に値する。

なかでも、分譲マンションの管理をめぐる制度改革議論への展開について示唆的な論文であることが高く評価できる。以上のことから、本論文を2016年度日本都市学会賞（論文賞）に選定した。

**日本都市学会特別賞（学術共同研究賞）**

**中部都市学会編『中部の都市を探る—その軌跡と明日へのまなざし—』風媒社、2015年1月22日発行**

**(選考理由)**

本書は、中部都市学会の60周年を記念して、同学会のメンバーを中心とした総勢20名が中部都市を多角的に考察した論考をまとめたものである。

副題の「その軌跡と明日へのまなざし」が示すように、名古屋を中心として歴史的に発展してきた中部諸都市の過去と現状、未来の姿が多面的に論じられており、国土の地理的中心に位置し、「ものづくり地域」として日本経済をけん引する役割の一端を担ってきた中部都市の特質が伝わってくる内容となっている。他地域の会員にも参考になるものと考えられる。

本書は、中部都市に関する広範な都市学の研究成果を広く一般読者に分かり易く伝達している点においても、また、一貫して前向きな筆致で中部都市の魅力を伝えているという点においても、「都市に関する学術の進歩発展に貢献」という選考規定に合致するものである。

以上の理由から、選考委員会としては、本書が日本都市学会特別賞(学術共同研究賞)に値する優れた書籍であるという結論に達した。

**第64回大会は石巻市で開催します**

第64回大会は石巻市で下記のように開催する予定です。詳細が決まり次第ホームページに掲載してまいります。会員の皆様にはスケジュールの調整をよろしくお願ひします。

開催学会 東北都市学会  
開催都市 宮城県石巻市（石巻魚市場）  
開催時期 2017年(平成29)10月27～29日  
大会テーマ「未定」

**日本都市学会年報VOL.49が発行されました**

日本都市学会年報VOL.49は、9月に発行され、会員各位へ送付されました。本号は、特集「新幹線

活かした地方都市のまちづくり」で上越大会の基調講演、シンポジウムなどの内容が収録され、査読付き論文29編、研究論文8編、学会の諸記録などが掲載され、総ページ数394ページになっています。

学会員以外でもご希望の方には1冊3,000円でお頒けしております。注文は年報担当事務局まで。

### 2017年度学会賞等を募集します

2017年度の学会賞（奥井記念賞）等の募集が始まります。2月下旬に、学会賞担当事務局から各地域都市学会事務局あてに推薦依頼をお送りします。各地域都市学会では、現物5部および推薦理由を沿えて4月末日までに学会賞担当事務局まで送付して下さい。

6月上旬から選考委員の選考作業が開始され、9月開催予定の選考委員会で選考結果をとりまとめ、理事会において決定されます。

### 2016年度論文審査委員会委員決まる

- 委員長 久 隆浩(都市計画・近畿)
- 副委員長 米本 清(都市・地域経済学・関東)
- 委員 齊藤綾美(都市社会学・東北)
- 委員 寺町賢一(都市交通・交通計画学・九州)
- 委員 川田 力(都市地理学・中四国)
- 委員 兼子 順(経済地理学・中部)

### 2016年度日本都市学会役員(10.29現在)

- 会長 堂前亮平(九州)
- 理事 増田聡(東北)、千葉昭彦(東北)、熊田俊郎(関東)、井上繁(関東)、西野淑美(関東)、林上(中部)、井澤知旦(中部)、碓井照子(近畿)、久隆浩(近畿)、山崎健(近畿)、由井義通(中四国)、川田力(中四国)、堤昌文(九州)、浅見良露(九州)
- 常任理事 森傑(北海道)、田淵義英(東北)、土居洋平(関東)、磯部友彦(中部)、大塚俊幸(中部)、小長谷一之(近畿)、山下博樹(中四国)、外井哲志(九州)
- 監事 檜楨貢(関東)、高山正樹(近畿)
- 事務局長 杉野尚夫(中部)

### 分散事務局

- 本部事務局(中部都市学会)  
460-0008 名古屋市中区栄4-12-26  
栄CDビル5A OASIS都市研究所内  
TEL 052-252-7741 FAX 052-251-5058  
事務局長：杉野尚夫  
e-mail：info@toshigaku.org
- 年報担当事務局(関東都市学会)  
〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698  
駿河台大学法学部 熊田俊郎研究室  
TEL・FAX 042-974-7001(直通)  
責任者：熊田俊郎  
e-mail：tkumada@surugadai.ac.jp

学会賞担当事務局(中四国都市学会)  
680-8551 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101  
鳥取大学地域学部地域政策学科 山下研究室内  
責任者：山下博樹

TEL・FAX 0857-31-5089  
e-mail：yamasita@rs.tottori-u.ac.jp  
論文審査担当事務局(九州都市学会)  
〒819-0395 福岡市西区元岡744番地  
九州大学大学院工学研究院環境都市部門(土木)  
責任者：外井 哲志  
TEL 092-802-3410 FAX 092-802-3361  
e-mail：toi@civil.doc.kyushu-u.ac.jp

### 地域都市学会事務局

- 北海道 062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1  
都市地域 札幌大学女子短期大学部経営学科小山研  
学 会 究室内 TEL 011-852-9342(直通)  
<e-mail> koyama-s@sapporo-u.ac.jp
- 東 北 970-8034 福島県いわき市平上荒川字  
都市学会 長尾309  
福島工業高等専門学校コミュニケーション  
情報学科田淵義英研究室気付  
TEL 0246-46-0850  
<e-mail> tabuchi@fukusima-nct.ac.jp
- 関 東 112-8606 東京都文京区白山5-28-20  
都市学会 東洋大学社会学部社会学科西野淑美研  
究室内  
TEL 03-3945-7453/FAX 03-3945-7453  
<e-mail> y\_nishino@toyo.jp
- 中 部 487-8501 春日井市松本町1200番地  
都市学会 中部大学人文学部大塚研究室内  
TEL 0568-51-9107/FAX 0568-52-0622  
<e-mail> chubutoshi@isc.chubu.ac.jp
- 近 畿 〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600  
都市学会 大阪駅前第2ビル6階  
大阪市立大学大学院創造都市研究科  
小長谷研究室  
<e-mail> info@kintoshio.org
- 中 四 国 680-8551 鳥取市湖山町南4丁目101  
都市学会 鳥取大学地域学部地域政策学科  
山下研究室内  
TEL・FAX 0857-31-5089  
<e-mail> yamasita@rs.tottori-u.ac.jp
- 九 州 839-8502 福岡県久留米市御井町1635  
都市学会 久留米大学経済学部・文化経済学科 畠  
中昌教研究室内  
TEL 0942-43-4411/FAX 0942-43-4797  
<e-mail> masahata.kurume.univ@gmail.com

本号が事務局担当4年間の最後の学会ニュースとなる。学会ニュース第1号を発行したのが1996年だから、もう20年。この間1～19号と今回36～43号まで、合計27号の学会ニュースを執筆したことになる。いまや日本都市学会の貴重な記録となりつつあるこの学会ニュース、今後も発行し続けられることを祈って、お別れしよう。(杉)